

●問題リストおよび解答例

※文中の取り消し線の箇所が修正部分で、その上に解答が示されています。

<p>No. 1 *誤り数5</p>	<p>日曜日、お父さんと富士公園に^{行った}行く。富士公園には、アスレチックがたくさん^{あって}いて、子どもたちが、何人も遊んでいた。わたしもやってみたら、^{楽しんで}すごくうれしくて、^{あっというまに}夕方になってしまった。もう少しやりたかったけれど、^晩朝ごはんの時間だよ、とお父さんが^にいわれて、家に帰った。</p>
<p>No. 2 *誤り数5</p>	<p>ひろみちゃんと駅前のスーパーに、^に買いもの^をを行った。わたしは、鉛筆とノートを買った。ひろみちゃんは消しゴムを買った。帰りにアイスを食べようと^に思ったら、わたしは、もう五十円しか^{なかつ}あった。でも、ひろみちゃんが、七十円かして^{くれた}あげたので、わたしもアイスが^{買った}買った。</p>
<p>No. 3 *誤り数6</p>	<p>あした、とんぼやま公園に遠足に^{行く}行つたので、ぼくは吉田君と自転車^にをのって、おかしを買いに行つた。スーパーで、三百円分おかしを買ったら、おばさんが十円おまけして^{くれ}あげた。ぼくは、^{その}十円でラムネを買った。帰りに自転車が^{こわれ}こわれてしまつて、ぼくは家^{まで}から歩いて帰った。</p>
<p>No. 4 *誤り数5</p>	<p>つばさくんの家には、ちびという名前の、犬が^いあります。ちびは、^{まだ}、こどもだけれど、つばさくんの言うことを、何でもよく聞きます。夕方ちびは、つばさくんに、散歩につれていって^{もら}います。公園の砂場^で遊ぶのが大好きです。家に帰ると、ミルクを^{ゴクゴク}ガリガリ飲んで、ねます。</p>
<p>No. 5 *誤り数5</p>	<p>今からカップラーメンの作り方を説明します。まず、お湯が、^{わか}わきます。^{つぎ}に、カップラーメンのふたをあけて、スープと具を入れます。それから、お湯を入れます。^あそのとき、やけどしないように、^き気をつけてください。そして、3分間まつと、^{でき}できさ^り。もう、^ややってみよう！</p>
<p>No. 6 *誤り数5</p>	<p>むかし、ある町に、とてもびんぼうな、おじいさんが、住んでいま^します。ある日、おじいさんが、お屋ごはんの、魚を^焼焼けていると、一匹のネコが、家の中^にで入ってきました。^{あれ}は、まだ子どもの、黒いネコでした。そして、とても、おなかを^すすかせて、いるようでした。</p>
<p>No. 7 *誤り数5</p>	<p>おじいちゃん、お元気ですか。ぼくは、^は、とても元気です。今度の夏休み、みんなで、おじいちゃんの家^に、行^きます。また、魚釣りをしたいな。今年は、自分で針が^{つけ}つけられるようになりたいです。今日は、雨が^{ザアザア}ザア降っています。てるてる坊主を作つて、窓の外に、^ささげ^てています。</p>
<p>No. 8 *誤り数6</p>	<p>「あの一、すみません。ハサミ、^あありますか？」「いらっしゃいませ。どんなの^を、いいですか？」「よく^切切れるのが、いいんだけど安い^のありますか？」「三百五十円のが、いいと思うけど？」「ちょっと^高高いなあ。三百円しか、^あある^んです。」「うーん…じゃ、五十円おまけして^ああげ^らうよ。」</p>
<p>No. 9 *誤り数5</p>	<p>お店で、コーヒーを飲んでいたら、急に、おなか^がを、いたくなりました。「あの一、すみません。トイレ、^どどこ^にですか？」「あ、むこうのおくに、^あありますよ。」わたしは、急いでトイレに^いい^きました。でも、^ささきに^だだれか入^っていて、とっても困りました。</p>
<p>No. 10 *誤り数5</p>	<p>きのう、学校の帰りに、ともや君を^に会^った。「あれ？ど^こへ行くの？遊ばない？」「これから、英語のじゅくなんだ。^だだから、遊^べないんだよ。」「そっか…、じゃ、しょうが^あある^ね。」「ごめんね。明日^が、だいじょうぶだよ。」</p>
<p>No. 11 *誤り数5</p>	<p>きのうの夜、さとみさんと、お祭り^にに行^った。神社のけいだいに、お店を^たたくさん、出^ていた。二人で金魚^すすくいをした。さとみさんは、三匹とれた。でもわたしは、一匹しか^ととれ^なかつた。帰りに綿アメを買った。「五百円だけど、四百円が^いいいよ」と、おじいさんが、おまけして^くく^れた。</p>
<p>No. 12 *誤り数5</p>	<p>今日、ぼくのクラスを、北海道から転校生が来た。朝の会^のとき、^あその子は、「鈴木弘です。よろしくお願^いい^する。」と、大きな声で、挨拶した。鈴木君は、ぼくのとりの席^にになった。ぼくは、鈴木君に教科書を見せ^ああげ^たくれた。「ありがとう。」鈴木君は、はずかし^さうに、そう言った。</p>
<p>No. 13 *誤り数5</p>	<p>ある日、森の中で、ぼくは、^冊一枚のノート^を、ひろいました。^{その}このノートには、ずいぶん大きな字で名前が^あ書いて^ありました。「1ねん1くみ くまやまくまお」。きっと、これは、クマの子どもの、^あ落と^したに^ちが^いある。ぼくはそう思いました。ぼくは、ノートを^ざざり^ざり^とと、めくってみました。</p>
<p>No. 14 *誤り数5</p>	<p>「たちまち」は、「すぐに」という意味^のを、ことばです。^こそんなふう^にに、使^いいます。「たちまち、雨がふりだした。」これは、すぐに、雨がふりだした、ということですよ。同じよう^なの意味^ををあらわすことばとしては、「^あおつというまに」ということばが、^ああります。</p>
<p>No. 15 *誤り数5</p>	<p>ぼくは、明日、高山くんと、^遊遊んだ約束^ををしている。いっしょに、プラモデルを^いい^くる予定だ。ぼくは、船の^をを買^っつつもりだけれど、高山君が、飛行機を買^っつと、言^っつた。9時に、駅前^にに集合して、それから二人で、お店に行く。何だか、^{ワクワク}ワクワクするなあ。お財布も、出^しておかなきゃ。</p>
<p>No. 16 *誤り数5</p>	<p>こんどの日曜日は、温泉に行^っつて、^ののんびり^をしたいなあ。近いところなら、車^でで二時間ぐらいで行けるし、ホテル^がとまらなかつたら、そんな^にに、お金もかからないし。^だだから、お休みの日は道が、こんでいるかも^し知らない。早起きを^すする^ののは、ちょっと、めんどくさいなあ…</p>
<p>No. 17 *誤り数5</p>	<p>さつき、おとなりの吉田さんが、^本一冊のノートを持って^いい^くつてくれました。^{その}このノートには、ずいぶん大きな字で名前が^あ書いて^ありました。「1ねん1くみ くまやまくまお」を、^くく^れました。茶色い温泉まんじゅうです。わたしは、大の甘党なので、饅^頭の中で、(ラッキー♥)と叫んでしまいました。</p>
<p>No. 18 *誤り数5</p>	<p>^{もう}まだ、秋だというのに、暑い日が続いていますね。昨日も、最高気温が二十七度も^ああ^りました。今年は、紅葉も、いつもより、だいぶんおくれる、^ここと^{です}。でも、朝晩は、冷え込むことが、さすがに多^くな^って^いきました。カゼを^ひひ^かめ^ぬように、^き気を^つつけ^まし^よう^ね。</p>
<p>No. 19 *誤り数5</p>	<p>その石は、とても^大大きく、重^いかった。ぼくは、たくやくんと^いい^っしょ^にに、その石を、もちあげて、どかすこと^ににした。「じゃあ、^いい^くるよ。いち、にの一の、^きき^んつ！」ふたりで、力を合わせて、石^をもちあげた。とっても重い。でも、ぼくたちはがんばった。</p>
<p>No. 20 *誤り数5</p>	<p>「ひろしくーん、^{もう}まだ八時よ。早く起きないとちこくしちゃうよ！」「…えっ！お母さん、ちゃんと^おお^きき^てよ！」「だって、目覚まし時計、^鳴鳴^ってたわよ。」^そそんな、ぜんぜん、気づかなかつたよ！もう、しょうが^あある^わねえ。」</p>

No. 21 *誤り数5	今日も、朝から、クムじいさんは、畑で草むしりにしている。クムじいさんは、ほんとうに、 ^{はたらき} はたらく者だ。おじいさんは、 ^{もう} まだ九十才なのに。「クムじいさん、 ^{おはよう} こんばんは！」「やあ、ネリ。朝ごはんは、食べたかい？」「うん。 ^{これ} あれから、学校に行くところなんだよ。」
No. 22 *誤り数5	◎旅行のとき、持って ^{行く} 来るもの ①きがえ:冬は、あたたかい下着を、いいよ。 ②ばんそうこう:手や足をけがしたときに、 ^{必要} 必要だよ。 ③ガイドブック: ^{重い} 重いもの、いいよ。 ④お金: ^{これが} これがないと、 ^{おわら} おわらないよ。
No. 23 *誤り数5	坂本君と、初めて ^{会った} 会うのは、ほくが、小学6年生の時だった。坂本君は、ほくの家のとなりに、九州から引越して ^{来た} 行ったのだ。そのとき坂本君は、ほくよりひとつ ^{年下} 年上の小学5年生。でも、背は、ほくよりずっと、 ^高 高かった。髪の毛も長く ^{伸ばして} 伸ばして、まるで、中学生のようだった。
No. 24 *誤り数5	水道から、 ^{ポタリポタリ} ポタリポタリと、しずくが落ちていた。お父さんもお母さんも、ぐっすり ^と と寝ているようだ。ほくは、ベッドから抜け出すと、音をたてないように服を着て、靴を ^{はいた} はいた。ふと、振り返ると、ベンがしっぽをふって、 ^{こちら} こちらを見ている。「シッ」ほくは、指を立てて口に入れた。
No. 25 *誤り数5	むかし、あるところに、おじいさん ^と とおばあさんがおりました。ある日のこと、おじいさんは山にしばかりに、おばあさんは、 ^に 川をせんたくに行きました。おばあさんが、せんたくをして ^{いる} あると、大きな桃が流れて ^来 来ました。おばあさんは、びっくりして、しりもちを ^{ついて} 食べてしまいました。
No. 26 *誤り数5	わたしの、お父さんは、毎日、会社を、はたらいています。でも、日曜日は、会社がお休みなので、わたしと、遊んで ^{くれ} あげます。この ^{まえ} まへの日曜日は、公園に ^{行って} 来て、バドミントンをしました。お父さんは、バドミントンが、とても ^{上手} 上手なので、わたしは、一度も、勝てませんでした。
No. 27 *誤り数5	むかし、ある国に、とても、くいしんぼうの王様が ^{した} います。王様は、朝から ^晩 まで、いつも、おなか ^を が、すかせていました。王様は、けらいたちに、「もっと、おいしいものを、持って ^来 来け。」と、命令しました。けらいたちが料理を運ぶと王様は、「もっと、もっと ^と と」とさげました。
No. 28 *誤り数5	今日は、学校で、合唱コンクールが ^{あった} ある。私たちの五年二組が、「つばさをください」という歌を歌った。私は、 ^{から} 前まで一列目で、はずかしかったけれど、がんばって歌った。そうして、いよいよ結果発表。私は、 ^{心臓} 心臓がドキドキした。そして、なんと優勝！思わず ^{うれ} うれしくて泣いてしまった。
No. 29 *誤り数5	3時から、映画が ^{始まる} 終わるというのに、電車が、まだ来ない。どうやら、となりの駅で、事故が、 ^{このまま} あつたらしい。あのままでは、映画に間に合わない。やっぱりバスで、 ^{行く} 乗ることにしようか。バスだったら、駅前から、たくさん出ているし、時間もそんなに ^か かからないよ。よし、バスで行こう！
No. 30 *誤り数5	きのう、学校の教室で、ハンカチが、 ^{落ちて} 落ちて見つけた。女の子をつかうような、赤いハンカチだ。でも、名前が ^{書いて} 書けてないので、だれのなか、わからなかった。教室には、ほく ^{以外} 以外に、だれもいなかったから、ほくは、 ^{その} あの落とし物を、職員室に持って行くことにした。
No. 31 *誤り数5	この ^{まえ} まへの日曜日、ほくは、家のてつだいを、たくさんした。まず、午前中、せんたくもの ^を を、ほした。それから、お母さんに、たのまれて、スーパーに、買物に ^{行った} 来た。ほんごはんのあと、こんどは、にわの草むしりをした。そして、夕方せんたくものを、 ^{たた} たためた。おおいそがしかった。
No. 32 *誤り数5	今日、ゆみさんは、友だちのひとみさんと、映画を見に ^{行く} 乗ることに、しています。午後4時に駅で待ち合わせて、電車に ^で 行くつもりです。映画が終わったら、お店で、夕食を食べる ^{予定} 予定です。どこのお店に行くかは、まだ、決まっています。それから、ネットでも調べようと思っています。
No. 33 *誤り数5	きのう、家の近くのレストランに、カレーを食べた。大きなお肉が、いっぱい、 ^{入って} 入れていて、とてもおいしかった。家の近所に、そんなレストランがあるなんて、ぜんぜん、きが ^{つかなか} つかなかった。こんど、 ^{行く} 乗るときは、ほかのメニューも、食べてみよう。 ^{そうだ} そうだ！友だちにも教えてあげよう。
No. 34 *誤り数5	午前6時2分、電車は、南野原駅が ^を 出発した。まだ、朝早いせいか、車内には、乗客が4人しか ^{いない} いない。電車は、だんだんと、スピードをあげ、窓の外の景色も、 ^{後ろ} どんどん前に、流れて行く。もう次の松ノ木駅のホームが見えて ^{きた} 行った。そうして、午前6時5分。電車は松ノ木駅に着 ^{到着} 着陸した。
No. 35 *誤り数5	おじいちゃん、お元気ですか。ほくは、 ^は からとても元気です。来週まで、夏休みがはじまります。そうしたら、おじいちゃんの家にも、 ^{行く} 乗る予定です。おじいちゃん、会えるのが、とても ^{楽しみ} 楽しみです。あー、早く、夏休みにならないかなあ。いまから、 ^{ワクワク} ワクワクしています。
No. 36 *誤り数5	田中さんは、花屋さん ^で で、はたらいています。花屋さんの仕事は、朝がとても早いので、毎朝、五時には、 ^{おきて} おきています。お店につくと、 ^{さいしょ} さいしょにそうじをします。それから、きれいに、花を ^{並べ} 並べます。でも、花は、何百種類もあるので、なかなか、名前をおぼえることができません。
No. 37 *誤り数5	タコとイカ、どこが同じで、どこがちがうかな？まず、同じところ。どちらが、海に住んでいる。それから、両方とも、体が ^{グニャグニャ} グニャグニャしている。 ^{それ} それじゃあ、どこが、ちがうかな？タコは体が赤い。 ^{でも} だから、イカは白いよ。それから、タコの足は八本だけれど、イカは十本も ^{ある} あるよ。
No. 38 *誤り数5	この前の日曜日、吉田さんとデパートで、買い物に行つた。デパートは、たくさんの人で、 ^{こんで} すいていて、わたしは、すぐに、つかれてしまった。ベンチに ^座 座って、休んでいると、吉田さんが、ジュースを買ってきて ^{くれ} あげた。でも、そのジュースが、とてもおいしくて、わたしは、 ^{すっかり} すっかり、元気になった。
No. 39 *誤り数5	むかし、あるところに、ひとりの、おばあさんが ^{した} いました。おばあさんは、毎日、畑で、やさいをつくって、くらしていました。ある日のこと、おばあさんが、畑に行くとき、鳥が ^羽 一個、いました。それは、みたことも ^{ない} ある美しい鳥でした。その鳥が、 ^{くちばし} くちばしに、何かくわえているのです。
No. 40 *誤り数5	十年くらい前のことです。 ^{まだ} まだ、私が、小学生のころでした。家の近所に、こわれかけた古い家が、 ^{あり} ありました。その家には、おばあさんが、ひとりで、暮らしていました。おばあさんは、毎朝、家の前が ^を 掃除していました。でも私は、一度も、おばあさんと、話をしたことが ^{ありません} ありません。

No. 41 *誤り数5	来月から、習字教室が、始まりました。毎週土曜日の七時から八時まで、こどもクラブで、行きます。小学生から中学生まで、参加する事ができます。 習字道具は、それぞれ用意して行ってください。それから、こどもクラブには、自転車と、とめるところがないので、歩いてください。
No. 42 *誤り数5	こんど、学校で合唱コンクールが、開かれる。ぼくたち四年一組も、優勝をめがけて、毎日練習している。ぼくは、歌が、上手じゃない。でも、先生が、元氣よく歌えばいい、と言ってくれたから、安心して大きな声を出している。コンクールまで、あと一週間。がんばらなくっちゃ。
No. 43 *誤り数5	お正月の遊びには、いろいろなものがあります。すごろくは、サイコロをころがして、遊ぶゲームです。タコあげは、紙で作ったタコを、空に上げる遊びです。羽根つきは、羽子板と言う木の板が、羽根を打ち合う遊びです。あなたは、お正月にどんな遊びをしたことがありますか？
No. 44 *誤り数5	わたしは、いま、ラーメン屋さんで、アルバイトをしています。毎週、月曜日と水曜日の、午後2時から、夜の9時まで、はたらいています。どんな仕事をしているかというと、お皿を洗ったり、野菜を切ったり、していました。アルバイトでお金をため、旅行をしたいと思っています。
No. 45 *誤り数5	わたしの趣味は、食べるものです。おいしい料理やデザートには、鼻がないのですが、その中でも、にぼん、好きなのが、ラーメンです。ラーメンだったら、毎日食べても、あきません。ラーメンのつぎに、好きなのは、カレーです。とくにインドの人は、作っているような、本場のカレーが大好きです。
No. 46 *誤り数5	わたしは、家でカメを一匹、飼っています。色は緑色で、大きさは、二十センチくらいです。グーちゃんという名前をつけています。どうしてかと話すと、ときどき、グーと鳴くからです。グーちゃんは、いつもは、ずっとしているけれど、エサをもらうときは、すばやく動きます。
No. 47 *誤り数5	きょう、国語の時間へ、作文を書いた。「将来の夢」というテーマだった。わたしは、もう、将来の夢がない。だから、何を書いていいか、わからなくて、こまってしまった。しかたがないので、「百才から長生きしたい」と書いた。家に帰っておかあさんに、そのことを話したら、笑っていた。
No. 48 *誤り数5	きのう、体育でサッカーをやっていたら、きゆうに気持ちが悪くなった。先生に言って、保健室に行かせてもらった。保健室で、熱をはかってみると三十九度もあった。「インフルエンザかも知れないね」と言われて、すぐに、お母さんと病院に行った。病院で検査をしたら、やっぱり、そうだった。
No. 49 *誤り数5	このまえ、生まれてはじめて、回転ずしのお店に行きました。話には見えたのですが、お店に入ってみてびっくりしました。思っていた以上に、たくさんの種類のお寿司が、回っていたからです。それに、お寿司だけではなく、ケーキや、ラーメンまであることにも、おどろかされました。
No. 50 *誤り数5	暑中おみまい申し上げます。先生お元氣です。ぼくは、いま、高知県のおじいちゃんの家におります。海が近いので、毎日、海水浴をしていたら、体がまっ白くなりました。でも、夏休みの宿題は、まだ全部終わりましたよ。先生は、夏休みに、どこかへ行きましたか？
No. 51 *誤り数5	きのう、コンビニで、お金を払おうとしたときに、百円玉を落としてしまいました。百円玉はコロコロころがって、どこに行ったのかわかりません。こまっていると、男の人が、「ここに、あったよ」と、拾ってくれました。私は、ホッとして、お金を受け取りました。そして男の人がお礼を言いました。
No. 52 *誤り数5	最近、私の家の近くに、コンビニが、開店しました。エコマートという名前がお店です。きのう、私も、はじめて、その店に行ってみました。お店は、とても、こんで、ずいずい、パンを買うだけなのに5分も並びました。感じがいいお店だったので、また、ちやちやく行こうと思っています。
No. 53 *誤り数5	あるところに、とても背の高い男がいました。男の名前が、「ぎすけ」といいました。ぎすけは、獵師でした。毎日、山でシカやタヌキをとって暮らしていましたが、こまったことが、ありました。背が高いために、すぐ動物に見つかって逃げられてしまうのです。だから、ぎすけは貧乏でした。
No. 54 *誤り数5	きのう、わたしは、家の近くの、スーパーに、買い物に行きました。ところで、帰りに、自転車で転んでしまったのです。さいわい、けがは、しませんでした。タマゴが3つも、わってしまいました。そのおかげで、買い物袋の中が、イチヤイチャ。わたしは、がっかりしてしまいました。
No. 55 *誤り数6	ぼくには、弟がひとり、いる。弟は、ぼくからひとつ年下の小学4年生だ。だけど、身長は、ぼくよりも高い。体重も重くて、いったい、どっちが兄か弟か、わからないくらいだ。でも、走るの、ぼくの方が速い。かけっこだけは、弟に勝つ自信がある。でもあとは、みんな弟に負けている。
No. 56 *誤り数5	今週、先週、わたしは、とてもいそがしい。まず、月曜日は、学校が終わるあとに、歯医者に行かなければならない。火曜と水曜はクラブがあるし、木曜は妹と、父の日のプレゼントを買いに行くことになっている。金曜はスイミングがあるし、土曜も朝までクラブの練習だ。もう目が回りそうだ。
No. 57 *誤り数5	冬休みが始まった。わたしは、まだ年賀状を書きいかなかった。まず郵便局に年賀状を売りに行った。郵便局が、とても混んでいて、窓口には行列ができていた。やっと年賀状を足に入れて、ほっとしていたら、友だちの山田さんに会った。山田さんは、まだ年賀状を出しに来ていた。
No. 58 *誤り数5	今年のお正月は、いろいろ楽しいことがあった。まず、元旦は、おじいちゃんの家で、餅つきをした。それから二日は初詣に行った。おみくじを引いたら、なんと！大吉だった。三日と四日は、家族で、スキーに行った。雪がすごく積んでいて、びっくりした。お年玉も、いっぱいもらったよ。
No. 59 *誤り数6	私は今、イギリスのものについて、調べています。なぜかという、今度、高校の修学旅行にイギリスに行くからです。昨日は、市の図書館で、本を買ってきました。イギリスには、王様と女王様が、いるそうです。それから、サッカーがとても盛んなようです。あー、早く行ってみたいなあ。
No. 60 *誤り数5	さっき、トイレに入ったら、トイレの電球が、切れていることに気がついた。うちのトイレには窓がある。だから、ドアを閉めると、まっくらになってしまう。しかたがないので、ドアを少しだけ開けて用をひいた。でも、だれかが見られているようで落ち着かなかった。電球、買わなきゃ。

No. 61 *誤り数6	朝、目がさめたら、もう部屋が暗 ^{あかる} かった。「ねぼうした！」ぼくは、あわててふとんから、飛び ^{起きる} 寝ると、超特急で、顔を ^{洗い} みがき、歯を ^{みがいた} 洗った。今日は、友だちと一緒に、山登 ^{あがり} るに行く日だ。始発の電車に乗って出かけようと、約束していたのに…友だちは、駅で待ちくたびれているはずだ。
No. 62 *誤り数5	ペロは、わたしの家 ^で を飼っているオス犬だ。年齢はもう十五才。人間で ^{言え} 話せば、七十才くらいのおじさんだ。でも、ペロは、とてもげんきで毎日、エサを ^{もりもり} 食 ^く べている。散歩に連れてい ^{あげる} くと、喜んで走り回り、あちこちで、おしっこを ^{する} やる。まだまだ長生きしそうだ。
No. 63 *誤り数6	今から、三百年も、むかしの ^{こと} ものです。タバルという町に、ひとりの若者が ^は おりました。若者が、パオロという名前でした。パオロには、夢が ^{あり} いました。それは、鳥のように空を飛びたい、という夢でした。でも、どう ^{やって} して？ある日、パオロに、とてもいい考えが、 ^{うか} びました。
No. 64 *誤り数5	この間、算数のテストで、百点をとった。戻って ^{また} 行ったテストを見たら、答えに全部、 ^{マル} マツがついていた。それで、ぼくはうれしくて、思わず「 ^{ヤツク} シューター！」と、叫んでしまった。家に帰って、お母さんを見せたら、お母さんも「 ^{信じ} られない！」と言っていた。
No. 65 *誤り数5	乗り物に乗るときは、マナー ^に が気をつけよう。たとえば、車内では、 ^{うるさく} うるさいしては、いけない。それ ^{から} 、お年寄りには、席をゆずろう。大きな荷物は、ほかの人の ^{迷惑} に、ならないように。駅や車内を、 ^{汚さない} 汚さないようにすることも大切だ。ゴミは、きちんと家に持ち帰ろう。
No. 66 *誤り数5	私の家には、いま外国人の学生がいます。名前 ^は 、ジョンさん。アメリカ人です。ジョンさんは、夏休みの間だけ、わたしの家で、ホームステイを ^{して} やっています。ジョンさんは、日本に ^{来て} 行って、まだ一週間なのですか、もう ^{すっかり} すっかり、日本の生活に ^{こんで} 溶け出しています。
No. 67 *誤り数5	わたしの村 ^{には} では、「よぶこ沼」という名前の沼があります。小さい沼なのですが、じつは、とても ^{深く} 深く、底なし沼だと言われています。なぜ、「よぶこ沼」という名前が ^{ついた} かと言うと、 ^{それ} それには、おそろしい理由があります。夜になると、沼から、子どもを呼ぶ声が、聞こえて ^{くる} いくのです。
No. 68 *誤り数5	田中さんと吉田さんが、 ^{並んで} 並んで歩いていました。でも ^で 、急に、田中さんが、転んでしまいました。吉田さんは、びっくりしました。 ^{ころんだ} ころんだ田中さんは、道に倒れています。「大丈夫？」と、吉田さん ^が に声をかけると、田中さんは、「うん」と言いながら立ちあがりましたが、頭からは血が ^{出て} 入っています。
No. 69 *誤り数5	京都は、日本でもっとも ^{有名} 無名な観光地です。古いお寺や神社がたくさん ^{あり} あり、毎年たくさんの人が観光に訪れます。特に人 ^が があるのは、清水寺と金閣寺です。春や秋には、修学旅行の学生で ^{押すな押すな} 引く引く混雑になります。お寺のまわりに ^{ずらり} ぞらりと並んでいるお土産屋も、大繁盛です。
No. 70 *誤り数5	天気予報です。関東地方の明日の天気は、曇りのち雨、雨は所により激しく ^{降る} やむでしょう。最高気温は二十八度、 ^{最低} 最低気温は十五度の予想です。南の風が強く、北部では竜巻が発生 ^{する} した恐れが、あります。気象庁 ^{から} の注意報に気をつけてください。明後日からは天気は良くなる ^{よう} そうです。
No. 71 *誤り数5	世界の発明王エジソンは、一八四七年に、アメリカ合衆国で ^{生まれ} 生まれました。エジソンは、大人に質問ばかり ^{して} やっていた子どもでした。何にでも興味を持ち、十才のときには ^{もう} まだ、色々な実験が ^{はじめて} していました。そして、八十四才でなくなるまでのあいだに、数え ^{きれ} ない発明を、なしたげたのです。
No. 72 *誤り数6	山田さんのおじさんは、スイカを ^を 育てている。今日、おじさんから、 ^{その} そのスイカをひとついただいた。大きくて、りっぱなスイカだ。今朝、おじさんが、畑で ^{取った} 取ったものさそうだ。さっそく包丁で ^{切って} 切って食べてみた。すごく甘くて、 ^{ほった} おでこが落ちるくらい、うまかった。
No. 73 *誤り数5	最近、新しいスマートフォンが発売 ^{され} しました。発売初日は、少し ^{でも} より早く手に入れようと、大勢の人が、店の ^前 前に行列を作りました。新しいスマホは、今までのものよりも、電池の持ちが良くなり、カメラの撮影機能も、いちだんと ^{増えて} 減っているそうです。すごいです ^ね 。
No. 74 *誤り数6	ぼくの部屋には、エアコンが ^{ない} ある。だから、夏は暑くてたまらないし、冬は寒くて、 ^と と半そだ。でも、お母さんに、エアコンをつけてほしい、と、頼んでいるのだけど、お母さんは、 ^{うん} うんと、言ってくれないんだ。こんど、お父さん ^に を、頼んでみようと思っているけど、うまく ^い いかなあ。
No. 75 *誤り数5	きのう、家に帰って、部屋のカギを ^{開け} 開けるとしたら、カギがないことに気づいた。ポケットやカバンの ^中 中を探したのだが、どこにもない。もしかししたら、どこか ^{どこか} いつか、落としたのかもしれない。家に入れなくて困っていると、お父さんは ^が 帰ってきた。それで、ようやく家に入ることができた。
No. 76 *誤り数5	お正月に、久しぶりに、おもちを食べた。いつもは、 ^{そんな} そんなに食べないんだけど、やっぱり、お正月は、おもちだ。まずは、 ^は 何と言っても、お雑煮だ。つぎは、 ^{焼いて} 焼けて、おしょうゆをつけて食べた。そして最後は、おしるこで食べた。 ^{全部} 全部で十個も食べてしまった。体 ^重 増加が心配だな。
No. 77 *誤り数6	あしたは、ABC ストア ^で に、大売出しがある。いろんなものが、とても ^{高く} 高くなるらしい。ぜったい ^{行こう} 行くかと思っている。大売出しは、朝九時の開店 ^{から} まで始まるのだけど、きつと八時くらいから、みんな ^{並んで} 並んでいるにちがいない。私も、並ぶつもりだ。で ^{ある} と、ほしいものが、なくなってしまう。
No. 78 *誤り数5	青森県について、紹介します。青森県は、東北地方の北部に ^{あり} あります。冬はとても寒く、また雪がたくさん ^{降る} 降ることに有名です。青森県の名産品といえば、何と ^{聞いて} 聞いてもリンゴです。収穫量は、日本一、 ^外 外でも「ふじ」という品種が人気です。また、まわりを海に ^{囲ま} 囲まれているので漁業も盛んです。
No. 79 *誤り数5	このまえ、友だちから、遊園地 ^に に行くこと、誘われました。それで今、何となく、ゆううつな ^に なっています。なぜかという、私は、絶叫系マシンが苦手、で、死んだら乗りたくありません。でも、友だちはとても好きなので、絶対、いっしょに乗ろうと、言って行くはず。何て断ればおわる ^い いかなあ。
No. 80 *誤り数6	この前、道 ^を を歩いていたら、きゆうに「田村さんじゃ、ありませんか？」と、声をかけられた。びっくりして、 ^{ふり} ふり返ったら、中学のとき同級生だった山田君が、 ^{立って} 立って座っている。久しぶりに会った山田君は、 ^肩 肩き違えるほど、背が高くなってた。山田君は笑いながら、 ^{こちら} こちらに近づいてきた。

No. 81 *誤り数6	朝、起きたら雨が降っていた。傘をさして、出かけようと思ったら、どこでも傘がない。何日か前に、傘を持って出かけた記憶がないのだけれど、どこかに置き忘れて行ったのだろうか。困ってしまって、部屋を探していたら、旅行鞆の外に、折り畳むのがあるのを、見つけた。
No. 82 *誤り数5	さっきから、弟がおもちゃのタイコを叩いている。テレビの音が聞こえないので、「うるさい！」と叱ったら、泣きだしてしまった。弟は、二度泣きだすと、なかなか泣きやまない。困ってしまって、しばらく遊んであげたら、ようやく機嫌が直った。まったく世話が焼けるなあ。
No. 83 *誤り数6	家の近くに、カフェができるので、きのう行ってみた。席が五つしかない小さなお店だったけど、メニューはたくさんいた。私は、その中から、抹茶オーレを注文してみた。出て行った抹茶オーレを飲んでみると、最高においしくて、半満足。抹茶好きの母にも、教えてあげようと思った。
No. 84 *誤り数5	日本には、六月になると、梅雨になります。梅雨に入ると、だいたい七月下旬頃まで、雨の降る日が多くなります。でも、「空梅雨」といって、あまり雨が降らない年も、あります。梅雨の時期は天気が悪いので、洗濯ができなくて困りました。だから、雨が降らないと、困ることもあります。
No. 85 *誤り数6	わたしの母が、いま、スポーツクラブに通っています。先月から通い始めたのですが、週に二回、休まず続けています。クラブを始めた理由は、運動不足の解消です。最近、ちょっと階段を上っただけでも、すぐに息が切れてしまい、これではいけない、と思ったのだそうです。
No. 86 *誤り数5	学校で、プールが始まった。このまえの月曜日がプール開きで、ぼくたちのクラスは、水曜日からは始まる。でも、ちょっと、気が重い。ぼくは、じつはまだ、ぜんぜん泳げない。友だちはみんな、二十五センチ以上、泳げるようになっているのに・・・水泳教室でも、通ったほうが悪いのかな。
No. 87 *誤り数5	この前の日曜日、友だちと科学博物館に行った。科博には、学校の遠足が一度だけ来たことがあった。だから、友だちと来たのは初めてだった。ちょうど、「恐竜展」をやっていて、ぼくたちは最初にそれを見ることにした。会場に入ると、いきなり大きな恐竜が、鼻に飛び込んできて驚いた。
No. 88 *誤り数6	ぼくが、いま切手を集めている。最初は、切手になんか、ぜんぜん興味がなかったのだけれど、友だちの鈴木君が集めていて、コレクションを見せてあげたら、すっかり、はまってしまった。何しろ切手は、ひとりひとり、とてもきれいだ。だから、できるだけ少なく、切手を集めたい。
No. 89 *誤り数6	私は、テレビのお笑い番組が大好きです。いちばん好きなのは、いろいろなコトをやる番組です。最近、NHKでも、やっているし、毎日、腹をかかえてみています。でもこの前、ふと、思いました。いったいだが、そんなに面白いコトを作っているのだろうか？
No. 90 *誤り数5	この前、いつも使っているボールペンが見当たらなくなりました。4色で書けるボールペンなのですが、使いたないので、ないと落ち着きません。あちこち探したのですが、見つからないので、しかたなく、ほかのものを、使っていました。でも、今朝、何と、トイレで発見しました。
No. 91 *誤り数5	わたしの前に、黒い大きな車が走って行って、止まった。そして車の外から、黒いサングラスをかけた男がおってきた。「田中さんですね？」男が尋ねられて、私は、そうだと答えた。男は、無言で車の後ろのドアを開けると、私に、乗れ、と手招きした。私が乗ると、車はすぐに停車した。
No. 92 *誤り数6	昨日の夜遅いことでした。家で寝ていたら、突然、大きな雷の音がしました。私は、びっくりして飛び起きた。雷の後には、激しく雨が降って行ききました。窓ガラスが、割れてしまうような降り方だったのに、わたしは怖くなりました。でも弟は、平気でプーゲー寝ていました。
No. 93 *誤り数5	妹は、早口言葉の達人だ。どんな早口言葉もスラスラ言うことができる。「赤巻紙青巻紙黄巻紙」なんて言葉を、唇を噛まずにいえるなんて信じられない。妹は、自分が得意なのだから、時々、ぼくにも早口言葉を言わせようとする。それで、ぼくがいえないとクスクス泣いてるんだ。もう、悔しいつらあるよ。
No. 94 *誤り数5	わたしは卵が大好きです。でも、好きといっても食べるのが嫌い、というわけではありません。あなたは、生き物の色々な卵を見るのが好きなのですか。ダチョウ、カエル、トンボがカメ。みんな、それぞれ、色も形も違います。わたしはひとつひとつの卵を調べては、楽しんで、楽しんでます。
No. 95 *誤り数5	終業式の日、校長先生のお話があった。「みなさん、明日まで夏休みですね。海水浴に山登り、みんないろいろと計画がないかと思いますが、でも、遊んでばかりいると、夏休みの最後の日に、お母さんが叱られながら宿題をやることになりますよ。計画を立てて、少しずつやりましょう。これから次に、熱中症についてのお話です・・・」
No. 96 *誤り数5	ぼくには親友がいる。山田君だ。山田君とは、幼稚園のころまでの友だちだ。だから、もう、十年以上のつきあいになる。高校からは違う学校に行くことになってしまったけれど、休日には、よく二人で、卓球をしたり将棋をしたりしている。なぜそんなに気が合うのか、不思議に思う。
No. 97 *誤り数5	私は、いま家でハムスターを飼っている。私が飼っているのは、ゴールデンという種類のものだ。ペットショップで買って行ったときは、とてもちいさかったけど、半月もしないうちに、ずいぶん大きくなってしまった。何しろエサをよく食べる。だから、まるでボールみたいに太っている。
No. 98 *誤り数5	三月になりました。公園の桜も、少しずつ芽がつけてきています。暖かい日が少なくなってきましたが、まだまだ寒い日もあります。それなら確実に春は近づいてきています。もうあと三週間もすれば、厚いコートはいらなくなるでしょう。春用の上着やシャツを入れておこうと思います。
No. 99 *誤り数6	おととい大相撲を観に行きました。会場に着くと、力士の名前を書いた旗がいくつも立っていました。チケットを売って、中に入ると取り組みはもう終わっていました。後ろの方の席だったので、おすもうさんの顔はよく見えませんが体がぶつかり合う音はよく聞こえました。わたしは、弁当を食べるのも忘れず、夢中になりました。
No. 100 *誤り数5	きのう、家でテレビを見ていたら、外で犬の鳴き声をした。最初は気にせず、そのままテレビをみていたのだけれど、ずっと鳴き続けているのでドアを開けてみた。すると小さな黒い犬が一匹、中に入ってきた。人が出て来て、安心するのか子犬は、うれしそうに、手をふっている。